

## 11月7日 JICA ミャンマー研修団 来訪の報告

先週7日(水)にミャンマー研修団が来て JACIC のコリンズ・テクリスの話等を聞かれて行ったので報告します。

○日 時：平成30年11月7日(水)9:30～11:30

○場 所：3F AB 会議室

○研修名：JICA の「ミャンマー国 道路橋梁技術能力強化に係る本邦研修」

○来 客：ミャンマー建設省道路局・橋梁局 17名＋関係者（通訳含む）6名＝計 23名

○経 緯：JICA から JACIC への直接依頼。昨年のベトナム研修団に続く受入れ。JACIC へ来る前に橋梁や高速道路の現場や維持の技術などを学んだ後、JACIC へ来訪。建設情報システム関連の話は JACIC のみ。

○対 応：JACIC 側から、尾澤理事・木下経営企画部長・森田コリテクセンター長・経営企画部の栗原・SE 部の石渡・河内 6名



### 1. プログラム(日本語—ミャンマー語の逐次通訳)

- 1) リン団長の挨拶
- 2) 尾澤理事の歓迎挨拶、国土交通省の i-construction の紹介
- 3) 木下部長、JACIC の組織と情報システムについて説明
- 4) 森田センター長より、CORINS・TECRIS の概要説明・検索画面を見せる。質疑応答
- 5) 記念の集合写真、記念品授与



### 2. 団長の話から

ミャンマーでは、道路・橋梁に関するサステナブルな運営というのを重視している。現在多くの工事に関しては、日本をはじめとする ODA プロジェクトが動いている。その中では日本工営が代理コンサルタントとして頑張っているものもある。ミャンマーとしては IT 技術的に全然追い付いていないが、CORINS・TECRIS の説明には、感心した。

### 3. 相手の質問から

- 1) 日本ではコンサルタントが建設業者を選ぶのか？ （選ぶのは発注者）
- 2) ミャンマーの ODA 案件に対して JACIC のシステムは何か支援してくれるか？（答える立場にはないが、データを使うことは可能）
- 3) CORINS・TECRIS に登録するデータは誰が確認しているのか？ （発注者）

- 4) 登録は義務なのか? (特記仕様書)
- 5) 検索料金は、どのように支払うのか? (発注者と年契約)
- 6) 技術者が変わっても使えるのか? (番号があり使える)

国の制度が違うためが故の質問も多くて、追加の説明をかなりした。

以上